

計画の あまがさき下水道ビジョン2031

位置づけ 尼崎市総合計画 と連動しています。
尼崎版SDGs

尼崎市 総合計画

計画期間

平成25年(2013年)～
令和4年(2022年)

公営企業局

あまがさき下水道ビジョン 2031

計画期間

令和4年(2022年)～
令和13年(2031年)

関連する
国の計画

- 新下水道ビジョン
- 新下水道ビジョン加速戦略

関連する
下水道事業の主な計画

SDGs (Sustainable Development Goals) 世界を変えるための 17 の目標



SDGs



尼崎市



「誰一人取り残さない
社会の実現に向けて」

Leave no one behind

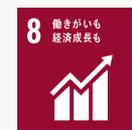
尼崎市総合計画 尼崎を変える

●下水道事業の取組

総合計画の施策

15 環境保全・創造

16 住環境・都市機能



本市では、施策ごとに定めた分野別計画の最上位の行政計画である「尼崎市総合計画」を策定し、分野別計画の連携を図り、まちづくりを推進し、「ありたいまち」の実現に向けた取組を進めています。また、総合計画の推進を図ることでSDGsの達成を目指します。

本ビジョンは、上位計画である「尼崎市総合計画」、「大阪湾流域別下水道整備総合計画」(兵庫県)と整合を図り、下水道の目指すべき方向性を示すものです。

一方、国においては下水道事業が抱える課題、近年の社会情勢の変化を踏まえた「新下水道ビジョン(平成26年(2014年))」、「新下水道ビジョン加速戦略(平成29年(2017年))」を公表しており、本市のビジョンについても整合を図っています。

さらに、令和元年(2019年)に今後の水道事業の取組として策定した「あますいビジョン2029」についても、両事業の連携強化をはじめ、その目指すべき方向性等での整合を図っています。

関連計画

あますいビジョン
2029

計画期間

令和2年(2020年)～
令和11年(2029年)

5年ごとの取組・
財政計画

あまがさき下水道ビジョン2031実施計画

前半期間 令和4年(2022年)～
令和8年(2026年)

後半期間 令和9年(2027年)～
令和13年(2031年)

- 大阪湾流域別下水道整備総合計画
- 尼崎市公共下水道全体計画
- 尼崎市公共下水道事業計画

尼崎版 SDGs
ための 16 の施策

SDGsの目標

環境と共生する持続可能なまち



安全・安心、快適でくらしやすいまち



SDGsとは…

「Sustainable Development Goals」の略で、平成27年(2015年)9月の国連サミットで採択された令和12年(2030年)までの長期的な開発の指針として採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核を成す「持続可能な開発目標」であり、先進国を含む国際社会共通の目標です。

平成27年(2015年)までを計画期間としていた発展途上国向けの開発目標「MDGs(ミレニアム開発目標)」の後継として採択されたSDGsは、発展途上国のみならず先進国を含む国際社会全体の開発目標として、持続可能な世界を実現するための包括的な17の目標及び細分化された169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に対する統合的な取組が示されています。

